



校訓

なかよく かしく たくましく

ちがいを豊かさに 自分に夢と自信を

令和6年2月5日 第21号 文責 梶原 圭一



◆◆2つの講演会に参加して◆◆

1月20日(土)に「よかつれフェスタ」、1月27日(土)に「菊陽町青少年健全育成町民会議全体研修会」に参加しました。それぞれ講演会がありましたが、講師の方がお話しになった内容について紹介します。

【よかつれフェスタ】 演題「自分は愛されるために生まれた!」

講師は、苦しい状況の中を生きる子どもたちのために、熊本市内で全般的な支援、学習支援や就労支援、居場所や居住支援を行っているNPO法人「トナリビト」の代表の方でした。この講演の中で一番印象に残ったのは、演題でもある「**自分は愛されるために生まれてきた**」というフレーズです。「自分は愛されている」という感覚のことを**自尊感情**や**自己有用感**といった言葉で表現されることがあります。これらの感情は、学習面にも大きな影響を与えますし、日頃の相手を思う前向きな言葉かけや美しい言葉との出会いによって育まれていくものと感じています。保護者の方々と互いに思いを共有しながら、「認め、ほめ、励ます」言葉を日々大切にして、子どもたちのもつ可能性を伸ばしていきたいと強く感じました。

【青少年健全育成町民会議】 演題「青少年とともに生きる 社会創り ～毎日が一期一会の蘇り～」

熊本県青少年健全育成県民会議会長が講師でしたが、自身のホームページの中で、日頃感じたことなどをブログに書き込まれています。その記事のいくつかを紹介しながら、大切にされている考え方を話されました。その中で学んだことは、物事の見方や考え方の転換でした。私たちは毎日色々な出来事に出会いますが、少し見方を変えるだけで、何事も前向きに捉えることができるという考え方を学ばせてもらいました。「これは〇〇だから……」という自分の中にある決まった考え方にこだわるのではなく、より広い視野を身に付けていくことで、これからの生き方が変わってくるように感じました。

◆学習ボランティアの皆さんにお世話になっています◆

本校の教育活動は、たくさんの地域の方々に支えられながら進められていることを実感します。「地域の方の力を借りながら、こういう学習を行いたい」という希望を地域学校協働活動推進員の方に相談すると、たくさんの方を紹介していただき、学習のサポートを行ってもらっています。5年生の家庭科でミシンを使ってエプロンを作るという学習がありましたが、5～6人の学習ボランティアの方々が数日にわたって来校され、学習を手伝っていただきました。また、3年生が総合的な学習の時間を使い、菊陽町の特産物である人参について調べ学習を行っています。実際に人参を種から育て、先日収穫しましたが、これも地域の方が畑の準備もしていただき、種まきについても丁寧に教えていただきました。子どもたちが水やりや草取りを頑張ったおかげで、たくさんの人参が収穫できました。その人参を料理し、みんなで味わう「収穫祭」を計画したところ、多数のボランティアの方々に協力していただき、みんなで味わうことが出来ました。

本年度、学習ボランティアとしてお世話になった回数は、約90回ほどになります。また、登下校の見守りや藤棚の剪定等でも、大変お世話になっています。地域の方々ののおかげで学習が充実していることに、心より感謝申し上げます。



【ミシンの使い方を教えてもらいました】



【にんじんの料理を教えてもらいました】

【お知らせ】 PTAより臨時総会(書面決議)及び動画視聴についてのお知らせを配付してあります。今後のPTA組織や活動に関わる重要なお知らせですので、動画視聴と回答へのご協力をお願いいたします。